

# 町民が安心できる町づくりをめざして



奥尻町議会議長

麓

敏也

奥尻町議会

副議長・産業建設常任委員

伊藤 実

総務文教常任委員長・議会運営委員

紀伊国 俊美

総務文教常任委員・議会運営副委員長・広報編集特別委員長

制野 征男

総務文教常任委員

上野 弘安

総務文教常任副委員長・広報編集特別副委員長・檜山広域行政組合議会議員・議会選出監査委員

齋藤 伸彦

産業建設常任委員長・議会運営委員・檜山広域行政組合議會議員

青坂 賢二

産業建設常任副委員長・議会運営委員  
千田 敏幸  
産業建設常任委員・広報編集特別委員

寅尾 裕志

総務文教受任委員

明上 雅孝

事務局長

小山 和恭

他職員一同

町民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

平成22年の年頭に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

日頃から町民のみなさまには議会活動に対し、ご理解とご協力を頂いておりますこと、議員一同心より感謝申し上げます。

さて、奥尻町では、みなさまもご承知のとおり様々な課題難題が山積しております。

まず、住民の健康と福祉の充実を図るために欠かせない国保病院の体制充実、そして離島である、奥尻にはなくてはならない海上航路の減便、またテレビや新聞で報道されております航空機の撤退問題など最重要課題ばかりです。

私ども議員一人ひとりが情

報を共有し、意識の統一を図り、町民のみなさんの代表としてそういった不安を安心に変えることが責務であると思っております。

最近の議会定例会には中学生・高校生、そして商工女性部などの傍聴者が多く見られます。

町理事者と議員、職員がどういった議論をしているのか、いま奥尻町が抱えている問題点はなんなのか真剣に耳を傾けていることが伝わってきます。

そして、中・高校生からの感想文など読ませていただき

ますと、私どもが忘れかけている素直な感覚を持った意見が多くみられました。

改めて、原点に立ち、先入観を持たない議論の展開を行っていかねばならないと感じました。

そうした中から、議員活動の基本的役割を再認識し、住民の皆さんとの活発な意見交換・情報交換を重点におきながら、奥尻町に課せられている現状を打破していく考えであります。

そして、景気低迷の経済状況の中を行政と町民が一つになつて厳しい時代を乗り越えていければと思っております。

新しい年がみなさまに取りましてよりよい一年になりますようにお祈り申し上げます。

年のご挨拶といたします。

平成22年 元旦

平成22年 元旦